

共 創

令和7年度 流山市立おおぐろの森中学校
第3学年 学年だより 第3号
令和7年 6月 16日発行

生徒総会を終えて

6月5日に行われた生徒総会では、事前に各クラスで学級討議が開かれ、「より良い学校にするためには？」という議題で話し合いを行いました。クラスごとに出席した意見をもとに、「何をすべきか」をテーマに、2回の話し合いを重ねて考えを深めていきました。

生徒総会当日には、全校で積極的に意見を出し合い、生徒会役員や各委員長を中心に、自分たちで会を進めながら意見を集約しました。こうした機会は、3年生にとっても、自分たちの考えを形にし、意見をまとめる大切な場となります。今後も、仲間と協力し合いながら、より良い学校づくりに向けて前向きに取り組んでいきたいと思います。当日までの話し合いの様子や、生徒総会の真剣な表情を収めた写真もあわせてご覧ください。

〈学級討議のようす〉



〈生徒総会のようす〉



〈代表生徒のコメント紹介〉

自治的な会にするために主な事前準備を行った、生徒会と議長のコメントを紹介します。

生徒会長：佐々木さん（3-2）

今回のテーマであった「理想のおおぐろの森中のつくり方」について、活発に話し合うことができました。ありがとうございました。皆さんが出してくださった様々なアイデアを、これからの話し合いの中で活用していきます。ぜひ、学級討議①・②で出た意見を参考にしながら学校をより良くするために、それぞれの組織で話し合いを進めてほしいです。また、生徒総会に限らず、日々の学校生活の中でも、一人ひとりが「自律」を意識し、有意義な時間を過ごせるように行動していきたいと思います。

生徒会副会長：岡村さん（3-4）

生徒総会に向けて私が一番大切にすることは、如何に自分ごととして考えられるか、です。なぜなら、当事者意識を持って総会に臨むだけで、有意義な話し合いになると思ったからです。総会の中で多くの方から「身の回りのことから変えていこう」という思いを感じ、準備してくださった方の思いが通じたのだと思い、嬉しかったです。総会をゴールではなくスタートだと捉え全員でよりよい学校のために協働していきたいと思います。

生徒会執行役員：武藤さん（3-6）

事前準備では、最初に議題を決めました。まだ新しい学校なので、今までの生徒総会では学校目標の「自律」について話し合っていました。そして、今回の議題である「理想のおおぐろの森中学校のつくり方」についての話し合いを通し、「自律」を達成するためには「土台」として何が必要なのか、生徒の皆さんと共に考えることができたと思います。生徒会執行部では、生徒総会で皆さんが出してくれた提案、意見、考えを今後の生徒会の活動に生かしていこうと思います。

生徒会執行役員：大塚さん（3-1）

今回の生徒総会は、事前に学級討議をしていたため、意見が出ないことを心配していましたが、全校でたくさんの意見を共有できる有意義な時間となりました。生徒総会で話題に上がったたくさんの意見を生徒会執行部で話し合い、学校生活へ反映させていきたいと思っています。今後も、一人一人の意見を大切にしていきますので、生徒会執行部の活動に乞うご期待ください!!

生徒総会議長：菅原さん（3-4）

スムーズな発言を意識することはできても、生徒総会本番にどのような意見が出るのか、どのくらい意見が出るのか、時間がどの程度かかるのか、やってみないとわからないことが多いので、臨機応変に対応することが難しかったです。また、全校生徒の前に立って話すため、正しい言葉遣いを心がけたり聞き取りやすい声で話したりと、意識することが多くて大変でした。緊張しましたが、良い意見交換の場になり、とても貴重な経験になりました。

生徒総会議長：酒巻さん（3-6）

始まる直前までは人生で一番緊張していました。生徒総会が始まってからは、たくさんの方が手を挙げて積極的に参加していたので、緊張がだいぶぐれました。実は議長をやるかどうか迷いがありましたが、実際に経験してみて、やってよかったと感じています。特に、適切な言葉を考えたり、会を進行させつつもトラブルに対応したりしたことが、今後の生活にも絶対に役立つと思います。今後も話し合いの場では、全員が参加できるように進进行を心がけたいと思います。